

【評価実施概要】

事業所番号	0174200204		
法人名	別海厚生企業組合		
事業所名	グループホーム「すずらん」		
所在地	〒086-0212 野付郡別海町別海鶴舞町6-45 (電話) 0153-79-6230		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成22年3月26日	評価確定日	平成22年3月31日

【情報提供票より】(平成22年2月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15 人, 非常勤 3人, 常勤換算	12.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造サイディング張金板葺造り		
	2 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有( ) 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円) (無)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(平成22年3月26日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.1 歳	最低	76 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	別海町立病院・ウエル歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は別海町郊外に位置し、付近には雪印乳業別海工場がある。事業所は広い共有スペースを中心に2ユニットがコの字型に造られ、職員や利用者は自由に行き交い食事と一緒にしている。職員は利用者と一緒にしながら自立を促しており信頼されている。利用者同士も気遣いあうなど楽しく日々ゆったりと過ごしている。事業所主催のすずらん祭り、敬老会、毎月1回開催のワンデイサービス(高齢者や障害者の社会参加の場)に地域の住民が参加し、また職員は、町主催の神社まつり(仮装、高校生のパレード)、産業祭りに利用者と共に参加して交流を図っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回課題である運営推進会議は22年度開催にむけて準備している。重度化や終末期に向けた方針の共有については家族、職員、訪問看護師、主治医と連携を図り方針を共有して看取りを実施した。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は管理者が全職員の意見を取り入れながら作成している。外部評価結果は月1回のミーティングで話し合い改善に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	21年度は運営推進会議は開催していない。22年度は4月に第1回目の会議の開催に向けて準備中であり期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	日頃から利用者や家族と話しやすい雰囲気をつくり、来訪時や電話で相談を受けており、職員会議で話し合い改善に取り組んでいる。毎月すずらんだよりを発行し事業所の行事や利用者の生活ぶりを郵送で報告し、小遣い出納帳のコピーを同封している。重要事項説明書で別海町や国保連合会に苦情相談窓口があることを知らせている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	事業所主催の行事(すずらん祭り、敬老会、ワンデイサービスなど)に地域住民が参加したり野菜を持ってきてくれるなど気軽に立ち寄り、職員も町主催の行事(神社祭り、産業祭りなど)に利用者と一緒に参加して地域との交流を図っている。

## 2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念と事業所独自の5つの目標(自由と尊厳、一家族としての共同生活、共同協力、自立支援、笑顔)を掲げ掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を各ユニットの見やすいところに掲示し、職員会議や法人内研修でも全職員が共有できるように常に確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所主催のすずらん祭り、敬老会、月1回開催のワンディサービス(高齢者や障害者の社会参加の場)に地域の住民が参加し、町主催の神社祭り(仮装、高校生のパレード)や産業祭りに職員と利用者が参加して交流を図っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者が職員の意見を取り入れながら作成している。自己及び外部評価の結果は職員会議で話し合い、改善に向け取り組んでいる。	○	職員の交替で新人職員が多いので、研修の機会を捉えて評価の意義を理解させ、自己評価を全職員で取り組むように、期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は行なわれていない。22年度から開催に向け準備中である。</p>	○	<p>22年度第1回目の運営推進会議の開催を4月に行うように準備中であり、期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の担当者とは介護保険・スプリンクラーの設置についての指導や情報を得て運営に役立てており、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日頃から利用者や家族と話しやすい雰囲気作りに努め、来訪時に利用者の状況を伝えたり、毎月すずらん便りを発行して利用者の日頃の暮らしぶり(写真)や、小遣い出納帳のコピーなどを郵送で報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所に苦情相談担当者を置いているが、日頃から利用者や家族と話しやすい雰囲気作りに努め、来訪時や電話で相談を受けており、相談があれば職員会議で話し合い、改善に取り組んでいる。国保連合会、別海町に苦情相談窓口があることを知らせている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>全職員と全利用者は、共有の大広間を介して2ユニットの行き交いが自由であり職員と利用者は馴染みの関係が出来ており、職員の異動による利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>21年度において2/3の職員が新人であり、管理者は新人研修に力を入れている。事業所は職員の介護福祉士の資格取得を奨励し、受験しやすい環境をつくっており、職員も自己啓発して取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町内唯一の認知症対応型共同生活介護事業所であり、地域内の交流はないが法人内の事業所（中標津、標茶）と合同で研修してサービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事業所は入所希望の利用者宅を訪問してサービスの内容を説明し、本人や家族に事業所を見学して職員や入居している利用者との馴染みながら入居するように工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は理念を念頭に常に利用者に笑顔で関わり、先輩として料理の仕方や編み物など教えてもらい、共に暮らす一員として支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりとの話し合いや関わりの中で、思いや希望をくみとり、できるだけ利用者の希望を叶えるように支援している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ユニットごとにケア会議を開催しており、各管理者が職員と利用者一人ひとりの状況を話し合いながら取りまとめ、安全安心を心がけて介護計画を作成し、家族の同意を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3カ月ごとに見直しているが、利用者の体調に変化が出たときや家族から申し出があったときは、利用者や家族、職員と必要によりかかりつけ医と相談して介護計画を見直している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の要望により定期健診、美容院、買い物などに職員が同行して送迎し、事業所の多機能性を活かした支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者のかかりつけ医は協力医療機関の町立病院であり、相談しやすい環境となっている。かかりつけ医が町外の場合は家族が通院送迎している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期のあり方について利用者、家族、訪問看護師、かかりつけ医と事業所代表が相談して終末期に向けたマニュアルを共有し、職員の協力で利用者の看取りを行った。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーの確保の徹底を図り、尊厳に配慮して利用者への対応や言葉使いに配慮している。個人情報の取り扱いに注意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>事業所の日課はあるが、こだわらずに利用者一人ひとりのペースを大切に本人本位に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の調達に利用者と職員と一緒に買い物にでかけ、食事の準備も出きる利用者が手伝い無理強いすることなく楽しく関わり、後片付け、茶碗ふき、お茶入れなど行い充実した時間になるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できるように準備している。入浴希望があればいつでも対応し、拒否がある場合はスタッフを交代するなど無理強いせず入浴できるように誘導している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は、ゴミ出しや掃除の手伝い、編み物、カラオケ、外食など行い、時にはのど自慢出場など張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節により散歩、買い物、外食などを行い、できるだけ外気に触れるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員は鍵をかけることの弊害を理解している。夜間は防犯上施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の指導を受け避難、誘導訓練を行っている。夜間を想定避難誘導訓練を行っている。防災マニュアルもあり町内会の協力もある。スプリンクラー設備は平成22年度に設置するように計画している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分摂取量は1,000ccを目安にし、利用者の体調によりミキサー食、麺類など工夫して食事支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や共有居間も広く、ソファや、小上がり(畳スペース)で気の合うもの同士話し合いながらゆったり過ごしている。台所から食事の準備の音や、メニューの匂いを感じることができている。壁に利用者の作品を飾り、季節のはなを飾っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者の馴染みのものを持ち込み夫々住みやすく工夫し居心地よく暮らしている。		

 は、重点項目。